

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-18 放置自転車防止事業				ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				1039	放置自転車防止事務	
主管課	交通政策課		関連課				
分野名	道路整備						
目標 (目標値)	・放置台数の削減(200台)						
人口等の データ		21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	人口	176,669人	176,484人				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	53,261千円	53,821千円				
	(国・県)	1,832千円	10,064千円	指標と評価			
	(負担金等)	3,321千円	4,220千円	指標	放置自転車の台数		
	(一般財源)	48,208千円	39,537千円	評価	○		
	人員配置数	2.2人	2.2人	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人件費	19,769千円	20,904千円	目標値	実績値		
	協働の パートナー	・鎌倉・大船警察署 ・財団法人自転車駐車場 整備センター	・鎌倉・大船警察署 ・財団法人自転車駐車場 整備センター	20年度	250	265	
事務事業 運営経費	総事業費	73,030千円	74,725千円	21年度	250	270	
	市民1人当 りの経費	413円	423円	22年度	250		
	対象者1人 当りの経費			23年度	250		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	・鎌倉駅・大船駅周辺等の自転車放置禁止区域における放置自転車は減少傾向にあるが、監視等 業務を継続して取り組む必要がある。 ・大船駅西口周辺の待機者解消のため、仮設駐輪場等の対応を行ってきたが、待機者の解消には 至っていない。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)					
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	これまでの取組みで、JR駅周辺の放置自転車対策は、一定の成果をあげている。今後も、大船駅、鎌倉駅の駐輪場整備に取り組むと共に、江ノ電、湘南モノレール駅の放置自転車対策を進めていく。		評価結果	改善の必要性	駐輪場整備は、市民ニーズや利用者動向を踏まえ、適切かつ効率的な整備を進める必要がある。	
B	有			B	有		
課長名	交通政策課長 高橋一也			部名・部長名	都市整備部 山内廣行		